

# 北東北学童野球 4年生以下大会 大会規定

## 1. 選手登録・チーム登録について

- (1) 選手は、小学4年生以下(2026年度)25名まで登録可能。
- (2) 複数チームの合同チームを認める。ただし、今大会限定の合同チームの場合、4年生登録選手数は最大9名までとする。
- (3) 1チームから複数チームが出場する場合、代表者・指導者・コーチの重複を認める。

## 2. 大会・試合規定

1. 塁間22m、投手間15m、固定ベースで行います。  
試合球は公式J号球(ケンコーボール)で行います。
2. 試合開始60分前には、会場入りしてメンバー表交換に備えて下さい。  
第1試合は9:20メンバー表交換。連続試合の場合、メンバー表交換は試合前とする。  
連続試合ではない場合は、前の試合開始20分後にメンバー表交換を実施する。メンバー表用紙の指定はしない。
3. ベンチは、組合せ番号の若い方を1塁側とします。連続試合の場合は、退席するベンチ側へ次チームが入ること。
4. シートノックは行いません。
5. ベンチに入れる人員は、代表責任者1名(成人)・監督1名(成人)・コーチ2名(成人)・スコアラー1名・マネージャー1名・登録選手25名以内の最大31名とする。※成人とは、18歳以上と定める。(学生除く)  
※登録選手以外の選手(6・5年生など)・その他のチームスタッフのベンチ入り・グラウンド入場は認めない。
6. 大会取決め事項
  - ①【予選】6回戦75分制。【決勝T】6回戦90分制。時間を越えて次イニングには入らない。  
※時間を越えて継続の意味がないと判断した場合は、その時点のバッターでラストバッターとする。  
※先攻チーム攻撃中に逆転不可能、またはコールドゲーム確定点数となった場合は、特別コールドゲーム成立となる。
  - ②3回以降10点差、4回以降7点差、5回終了時6点差でコールドゲーム成立とする。
  - ③1イニングに攻撃側に5点が入った時点で強制チェンジとする。
  - ④投手の投球制限は1日60球までとする。(全学年)  
試合中に60球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。投球数の管理は大会本部を正とする。
  - ⑤投球練習時のキャッチャー・ブルペンキャッチャーは登録されたコーチが務めても構わない。
  - ⑥ボークは注意のみとするが、動作が直らない場合は投手交代とする。
  - ⑦予選は6回終了または時間を越えて同点の場合は、最終メンバーによる抽選で決する。  
決勝トーナメントのみ延長規定を設ける。延長は、時間以内であれば、7回から特別延長戦(1死満塁継続打順)を実施して勝敗を決する。ただし、特別延長戦は最大2イニングまでとする。特別延長で勝敗が決しない場合、または80分を経過した場合は、最終メンバーで抽選を行い、勝敗を決する。
  - ⑧予選トーナメントは全打者1ボール1ストライク。決勝トーナメントは、通常カウントとする。
  - ⑨練習場所はブルペンのみとなり、次試合チームのみ使用可能とする。1チーム指導者を含め5名まで可。  
また施設敷地内でのアップ等は許可する。ただし施設の破損や苦情は、該当チームで処理をすること。
  - ⑩八戸・弘前会場特別規定
    - 天井に打球が当たった場合は、落下地点にてフェア or ファールを判断する。
    - サイドネット・バックネットに打球が直接当たった場合は、ファールとする。
    - 外野ネットについてはノーバウンドで当たった場合(天井に当たった後も含む)は、2塁打(エンタイトル2ベース)とする。
  - ⑪弘前克雪トレーニングセンター特別規定
    - 外野ネット3段目より上に当たった場合(天井に当たった後も含む)は、ホームランとする。
7. ユニフォームは、必ずチームで統一したものにしてください。※ただし連合チームの場合は、背番号の重複がなければ複数のユニフォームを可とする。監督・コーチもユニフォームを必ず着用してください。カラーソックスはチーム内統一であれば可能とする。スパイクの色の指定はない。また指導者のスパイクは、トレーニングシューズも可能とする。  
ネックウォーマー(投手不可)・レッグウォーマーの着用は認めるが、派手な柄については使用を控えること。
8. 試合前のベンチ前練習には、監督・コーチ・選手のユニフォーム着用者以外は参加することはできない。また代表者・コーチ・スコアラー・マネージャーは必要がない限り、試合中にグラウンドに出ることはできない。
9. スタンド・応援席は「応援」をする場所です。相手チーム・審判への、野次や罵声は控えまして観戦・応援をしてください。応援席のマナーが悪い場合は、監督を退場処分といたします。
10. 応援は、拍手・手拍子・メガホン・ペットボトル(シャカシャカ)の応援を可能とする。声を出す応援の制限はしない。  
音響設備は可能とする。ただし太鼓・楽器の使用はできないものとする。
11. 試合規定項目以外については、2026年公認野球規則・競技者必携及び試合前の審判からの取決め事項を準用する。
12. 上記内容または、それ以外の項目について大会責任者が事前に認めた場合は可能とする。

## 大会本部より

また指導者は大会規約に関して熟読して頂き、試合・大会進行の妨げになる行為・本部や審判の指示に反する行為をされる指導者に関しては、退場処分とさせていただきます。